

平成30年産水稻の収穫量（和歌山県）

－ 水稻の収穫量（主食用）は3万1,600 t －

1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は6,430haで、うち主食用作付面積は6,430haとなった。

2 作柄概況

(1) 平成30年産水稻の作柄は、穂数はやや少なくなったものの、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、全もみ数は「平年並み」となった。

出穂期以降、台風第20号（8月下旬）、台風第21号（9月上旬）の暴風雨及び9月の日照時間が平年を下回って経過したことから登熟は「やや不良」となった。

これらのことから、10a当たり収量は492kg（前年産に比べ15kg減少）となった。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となった。

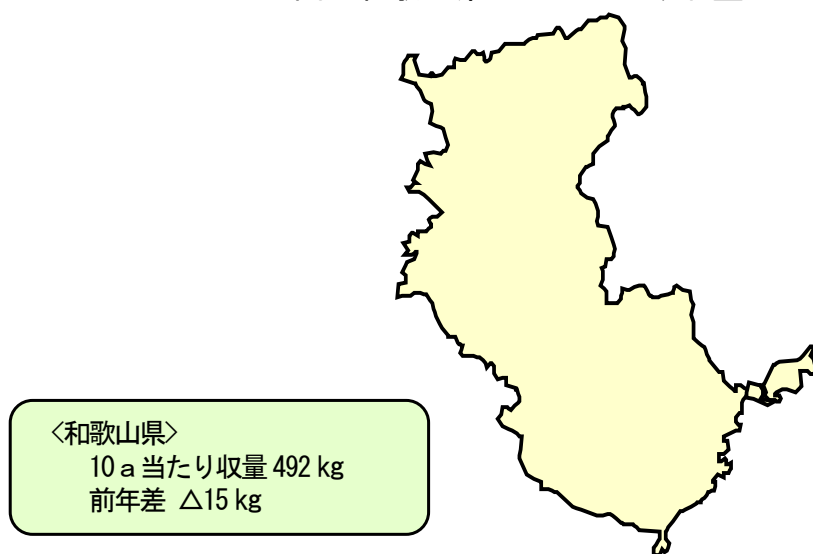
(2) 被害は、台風の暴風雨による倒伏、穂発芽及び潮風害が発生したほか、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による食害や山間部での獣害等が発生した。

3 収穫量

収穫量（子実用）は3万1,600 t（前年産に比べ1,700 t減少）となった。

うち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は3万1,600 tとなった。

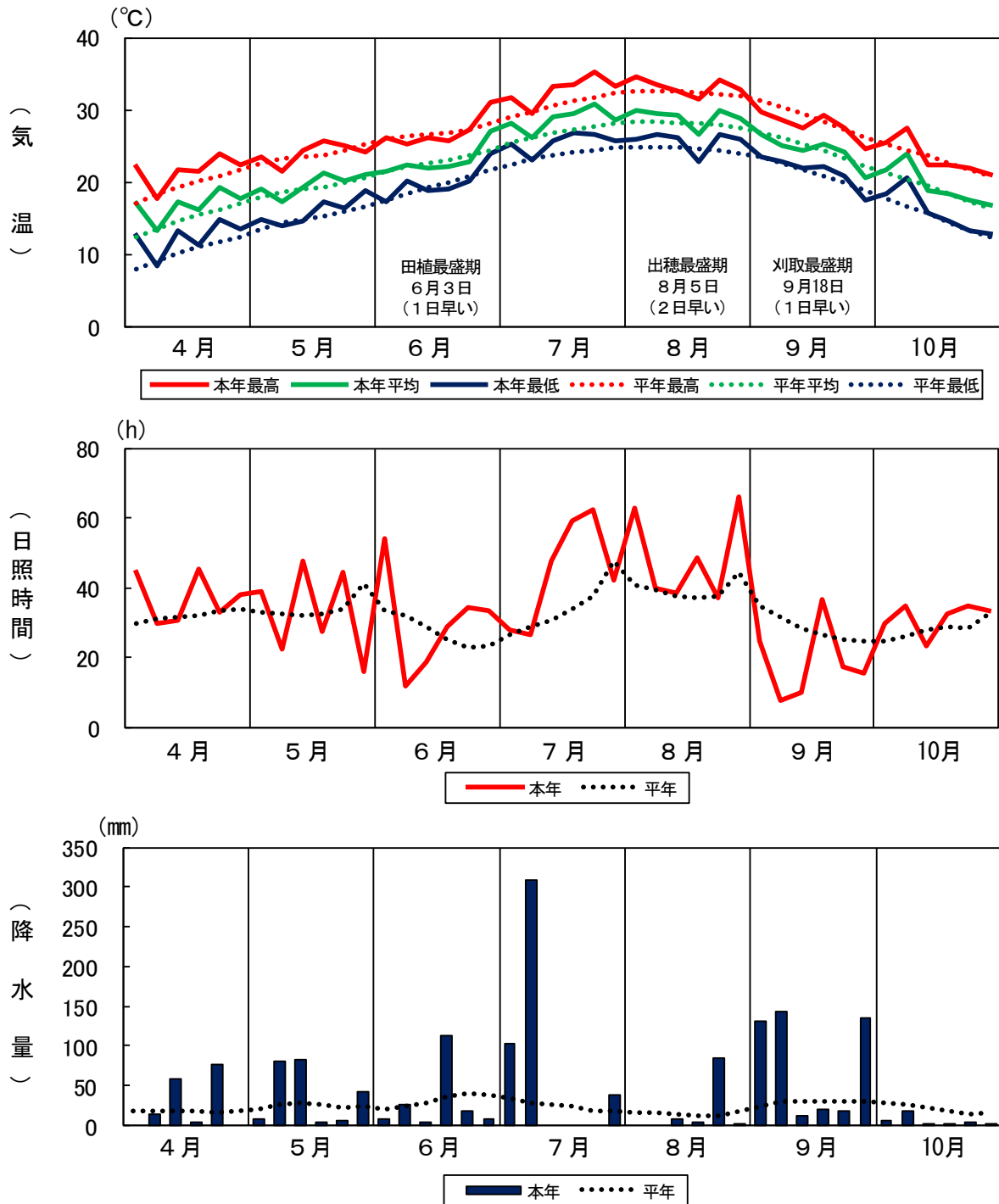
図 和歌山県の10a当たり収量



○ この資料は、「平成30年産水稻の収穫量（近畿）」（平成30年12月10日公表）の補足資料として作成したものである。

【参考】

和歌山県（和歌山市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、()は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 和歌山県拠点 統計チーム

電 話：(代表) 073-436-3831 内線303

(直通) 073-436-3835

F A X： 073-436-5002